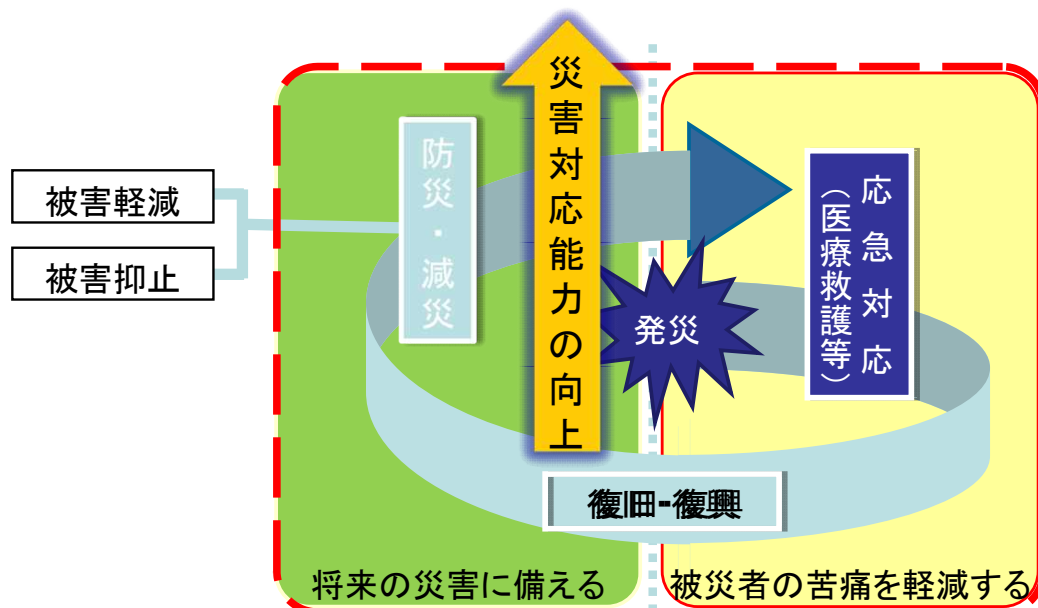


平成26年度

日本赤十字社の防災への取組

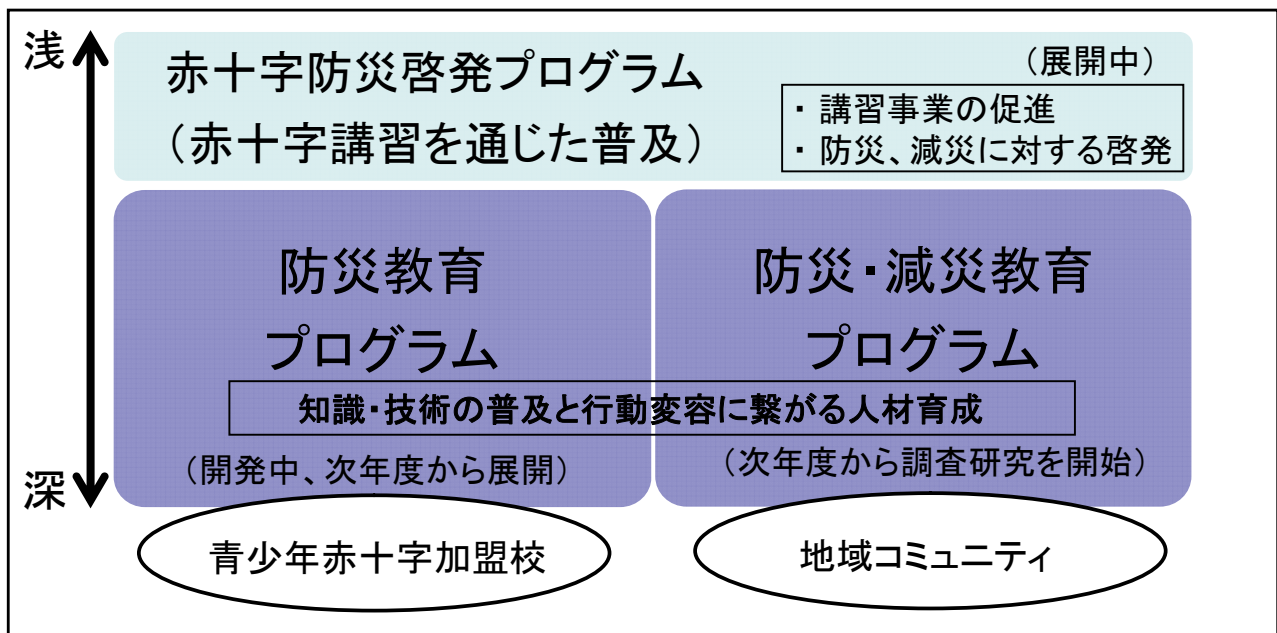


(1) 災害対応の仕組みと日本赤十字社の対応



👉「救護」の再定義
(災害マネジメントサイクル全体への関与)

(2) 「防災・減災教育プログラム」の策定、普及



👉 「災害からいのちを守る日本赤十字社」へ
(社会から求められるニーズに直結した取り組み)

(3) 国内災害救護体制の充実強化

1) 防災・減災教育プログラムの策定

2) 人材育成

- ・全国赤十字救護班研修会の開催(年4回/240人養成)
- ・災害医療コーディネーターチーム研修会の新規開催
- ・救護員等の養成体系の再構築

3) 防災関係機関との連携強化



海上保安庁と連携した救護活動

【本社主催】 災害救護訓練・研修会予定表

行事名	場所	開催日	日数	対象
こころのケア指導者養成研修会	本社	6月21～23日	3日	こころのケア指導者候補
第1回 全国赤十字救護班研修会	兵庫県	7月5～7日	3日	・日本DMAT隊員 養成研修未受講者 ・支部救護担当職員
第2回	本社	9月13～15日	〃	〃
第3回	北海道	11月22～24日	〃	〃
第4回	本社	平成27年 1月10～12日	〃	・日本DMAT隊員 養成研修既受講者 ・支部救護担当職員
原子力災害対応基礎研修会	全国6会場 (ブロック毎)	未定	各1日	各支部毎に救護担当者1名と放射線技師等の施設職員(1～2名)
赤十字災害救護情報システム運用説明会	本社	平成27年 1～3月(予定)	2日	支部救護担当者
災害医療コーディネーターチーム研修会	本社(予定)	未定	未定	災害医療コーディネーターチームスタッフ

【第5ブロック主催】

行事名	場所	開催日	日数	対象
日本赤十字社中国・四国各県支部合同災害救護訓練	山口県	11月8～9日	2日	各県支部救護班要員
第5ブロック 災害対策本部要員研修会	鳥取県	平成27年 1月22～23日	2日	各県管内施設職員 3名程度

【支部主催】

行事名	場所	開催日	日数	対象
日本赤十字社徳島県支部救護班要員研修会	小松島市	5月17日	1日	救護班要員及び臨床研修看護師
第1回救護班要員対象こころのケア研修会	小松島市	7月26日	1日	救護班要員
第2回	〃	8月30日	1日	〃
赤十字青年災害救援ボランティア養成講習会	支部事務局	9月27・28日	2日	特殊赤十字奉仕団 地区・分区推薦者等
赤十字青年災害救援ボランティア技能維持研修会	〃	平成27年 1月24日	1日	赤十字青年災害救援ボランティア要員

赤十字青年災害救援ボランティア養成講習会概要

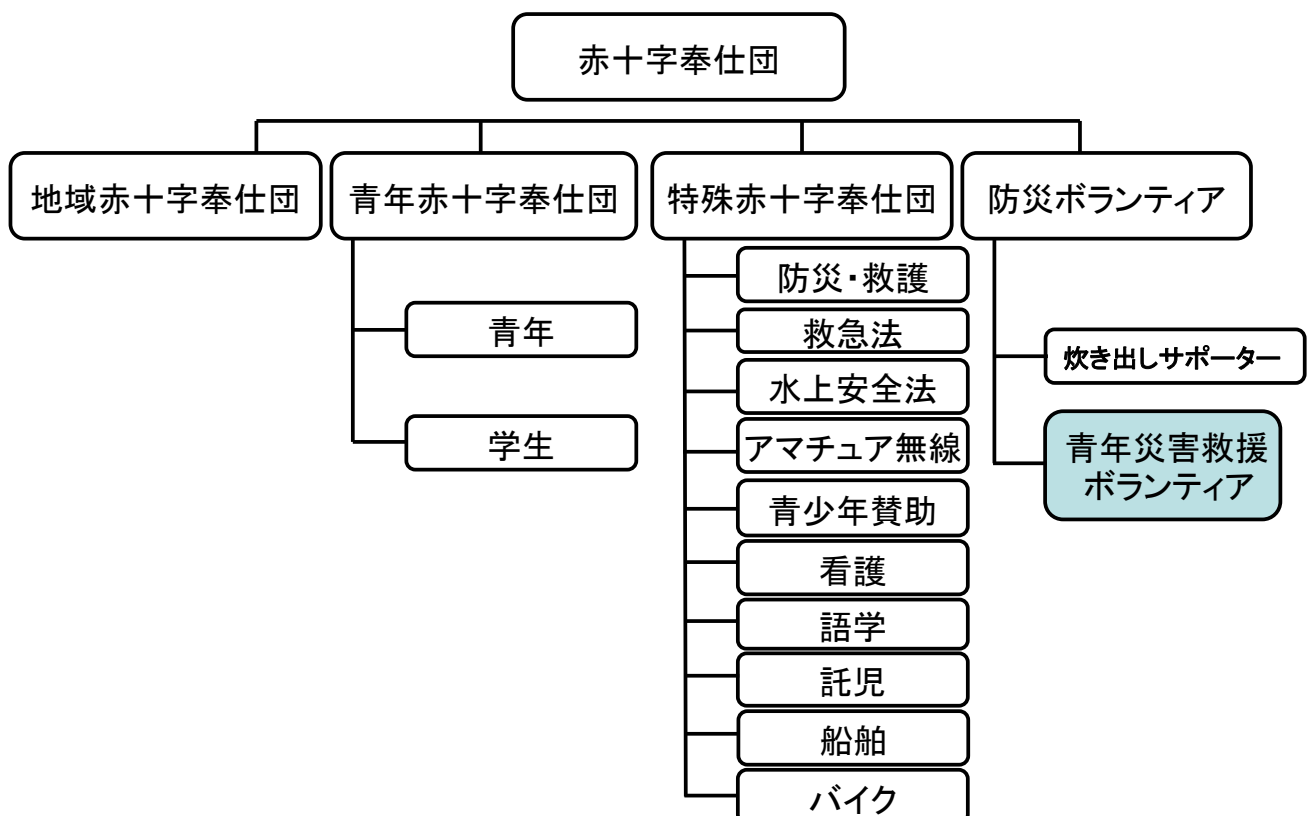
1. 目的

救護活動における後方支援体制の強化を図るため、主事要員の業務である医療救護班の補佐や、生活環境の整備を行う人材を養成する。

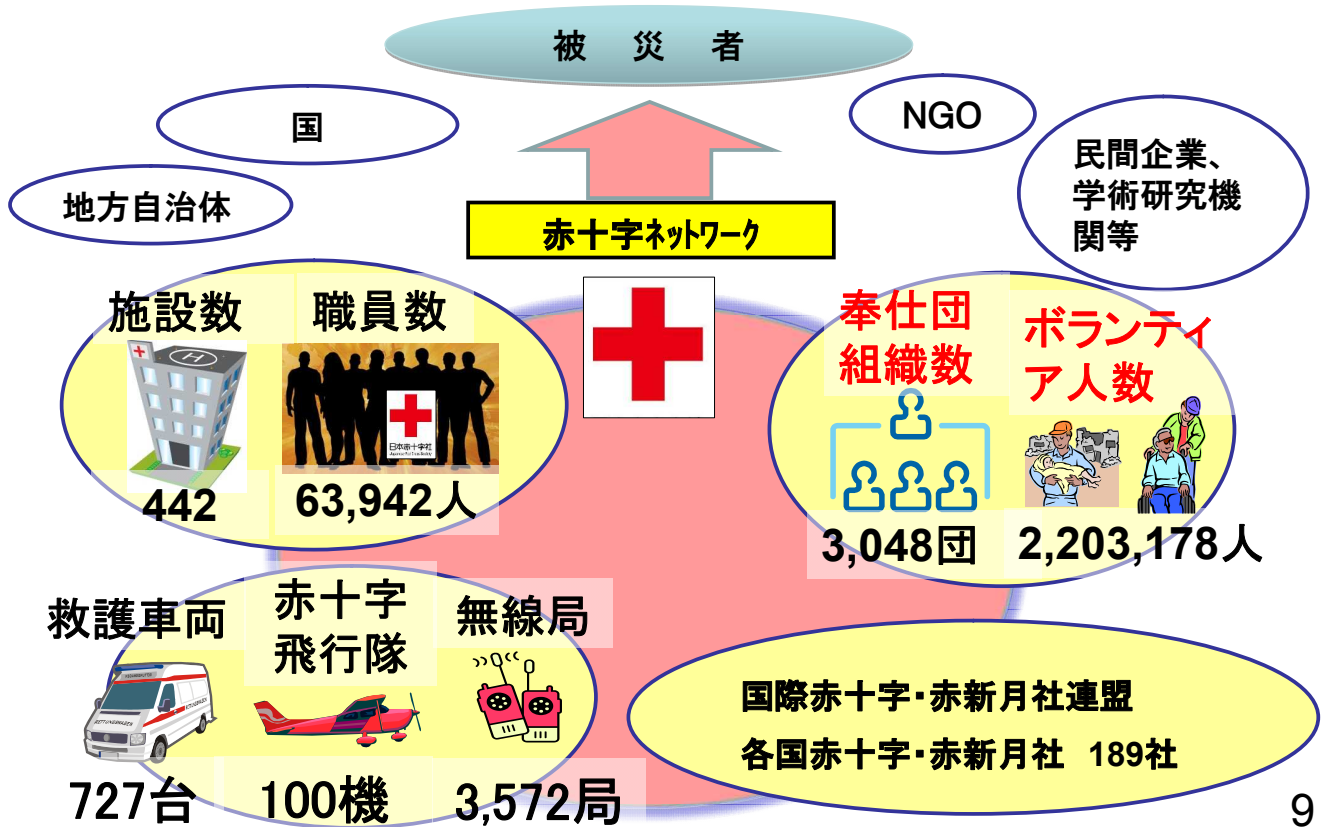
2. 内容

- ・赤十字と救護活動について(講義)
- ・フレーム一体式テント(DRASH)設営
- ・無線通信訓練
- ・救護資器材及び救護車両の取扱い

赤十字の活動とボランティア



日本赤十字社の救護活動支援の体制図



地震対応計画の状況

1. 日本赤十字社
 - ・東南海・南海地震対応計画(平成24年)
2. 日本赤十字社第5ブロック
 - ・東南海・南海地震対応計画(平成25年)
 - ・東南海・南海地震災害救護運用マニュアル(作成中)
3. 日本赤十字社徳島県支部
 - ・東南海・南海地震対応計画 (5B運用マニュアルを受けて作成)

* 政府の「応急対策対処方針」の制定を踏まえた、日赤の東海地震／首都直下地震／東南海・南海地震(南海トラフ地震)の各対応計画を統合し、「防災業務計画」の再整理と再提出を行う予定である。

日本赤十字社第5ブロック 医療救護班編成

県名	救護班数 個班	医師(班長) 名	看護師長 名	看護師 名	薬剤師等 名	主事 名	計
鳥取県	5	5	5	10		10	30
島根県	5	10	5	15	5	5	40
岡山県	9	9	9	18		18	54
広島県	10	10	10	20	10	20	70
山口県	8	16	16	292	7	41	372
徳島県	7	7	7	28	7	7	56
香川県	8	8	8	16	16	8	56
愛媛県	8	8	8	16		16	48
高知県	8	9	8	30		17	64
合計	68	82	76	445	37	142	790

徳島県支部医療救護班

①医療救護班の編成

施設名	職種	医師 (班長)	看護師長	看護師	薬剤師	主事	計
徳島赤十字病院		5名	5名	20名	5名	5名	40名
徳島赤十字ひのみね 総合療育センター		1	1	4	1	1	8
徳島県赤十字 血液センター		1	1	4	1	1	8
計		7	7	28	7	7	56

1個班の編成基準は、医師1名、看護師長1名、看護師4名、薬剤師1名、主事(自動車操作員を兼ねる)1名、計8名である。7個班を編成し、いつでも迅速な対応ができるよう体制の強化を図っている。

②徳島目赤DMAT(超急性期災害派遣チーム)

徳島赤十字病院	医師	看護師	調整員
	4名	8名	4名

日本赤十字社徳島県支部の主な救護装備

品名	数量	品名	数量
常備医療救護班	7	除染テント一式	1
救急車	2	防護マスク(NBC対応)	12
災害救援車(普通自動車)	3	防護服(NBC対応)	12
災害救援車(トラック)	1	デジタル個人線量計	7
発電機	7	防護服(原子力災害対応)	7
投光器	24	浄水器	1
テント	13	移動炊飯器	4
エアーテント	2	簡易型トイレ	60
フレーム式テント	2	ラップ式簡易トイレ	2
救護所用冷暖房器	3	AED	2
医療セット(初動用含)	3	衛生携帯電話	2
業務用無線局 (150MHz)基地局	36	業務用無線局 (400MHz)	1
〃 移動局	10	〃 移動局	22
バックボード	5	アマチュア無線	14
担架	16	災害用アルミボート	1
担架台	4	折畳寝台	36

「いざ」に備え

「いま」できることを!

